



令和5年10月13日

# 玉工通信



〒 311-3501茨城県行方市芹沢1552  
TEL 0299-55-0138 FAX 0299-55-3454  
<http://www.tamatsukuri-th.ibk.ed.jp>

## 第9号



### 9月28日(木) 終業式 学校長訓話

生徒の皆さん、こんにちは。  
本校は2学期制を採用していますので、本日で前期が修了となり生徒の皆さんは明日休業となり10月2日から新学期となります。前期の学校生活はどうでしたか？  
本年度は、5月8日からコロナウィルス感染症が2類から5類に移行され、様々な教育活動がコロナ前の状態に近づいてきました。

6月にはクラスマッチが行われ、クラス全体が一つになって競技に、そして応援に大変熱が入り、素晴らしい1日となりました。また、7月14日にはノーブルホーム水戸で全国高校野球茨城大会が行われ、本校野球部が牛久栄進高校と対戦しました。残念ながら勝ち進むことはできませんでしたが、選手のみなさんが一生懸命に戦う姿と暑い中でも、しっかりと応援を続ける皆さんの様子は、大変素晴らしかったと思います。  
この終業式の後には、担任の先生から前期の成績を受け取ることになると思いますが、成績はもちろんのこと、部活動や、資格取得、その他の学校生活について、前期に足りなかったことや、できなかった事をよく考え、後期に向けてしっかりと計画を立ててもらいたいと思います。  
さて、少し気になるニュースがありましたので、お話ししたいと思います。イギリスのBBCニュースにあったものです。少し読んでみます。  
ウクライナの戦死者が大幅増 東部の死体安置所をBBCが取材 8/30(水) 14:32配信



ウクライナの戦死者が大幅に増加していると、米当局が推定している。ドネツク州の前線からそう遠くない場所にある小さなレンガ造りの死体安置所では、無名の兵士たちが山積みになっていた。マルゴさん(女性26)はここで、死者に語りかけているという。「変に聞こえるかもしれないがこの人たちが死んだことに対して謝りたい。どうにかして感謝の気持ちを伝えたい。(兵士たちは)聞こえているように思うが、返事はできない」死体安置所の重いドアの前には、散らかった机がある。そこで死者の詳細を記録するのが、彼女の仕事だ。ウクライナ当局は、戦死者数は国家機密だとして、人数を明らかにしない。しかしマルゴさんは、その数が膨大だと知っている。米紙ニューヨーク・タイムズは最近、米当局の話として、ウクライナ側の戦死者が7万人、ロシアの戦死者は12万人に上っていると報じた。

行方市の人口は3万2千人ですから、とてつもない数の人が亡くなっていることとなります。  
「たまらなくつらいのは、20歳や22歳にもなっていない若者が死んでいるのを見たとき。そして、自らの意志で死んだのではないと思知らされるとき」とマルゴさんは言う。「兵士たちは殺された。自分たちの国土のために殺された。それが一番つらい。これに慣れることはない。今はただ、この男の子たちが家に帰るのを手助けするだけだ」。これまで最もつらかった日は、夫が死体安置所に運び込まれたときだったという。夫(23歳)は、昨年12月29日に戦死した。「彼は祖国を守るために死んだ。その後、私はここで戦死者の手助けをすべきなのだと、自分に何度も言い聞かせてきた」こんな、記事です。

もう一つ、朝日新聞の社説を紹介します。これは東京の中学生が書いたものです。  
夏休みに僕は両親、兄、祖母と沖縄に行き、平和記念公園を訪れた。そこには沖縄戦で亡くなった人の名前が記された「平和のいしじ」があり24万人あまりの名前が彫られた刻銘碑が連なっていた。1220面あるので、機械で名前を検索しなくては行けない。たどり着いた碑には、祖母の戦死した叔父や幼なじみのお父さんの名前があった。祖母には、一生に一度はこの場所で手を合わせたいという強い思いがあった。「長年の願いがようやくかなった」と祖母は涙目で語っていた。「昔は身近な人も戦争に出て亡くなってしまうことを実感した。」  
僕が、小学校の時に読んだ絵本にあった、「ヌチドウタカラ」という言葉を思い出した。沖縄の言葉で「命こそ宝」という意味だ。紛争・内戦が絶えない今、命が何より大切と世界中の人々に伝えたい。

私も、「命こそ宝」だと思います。  
今、高校生である皆さんが、戦争の悲惨さを実感することは、難しいかもしれませんが、自分事として考えてもらいたいと思います。  
それを実感できるようになるということは、戦争が始まるということですから、そうならないように、今よく理解しておいてもらいたいと思います。  
戦争によって多くの人々が亡くなることは、とても辛くて、悲しいことです。日本人のわたしたちにとっても、ウクライナの人にとっても、もちろんロシアの人にとっても同じです。ですので、戦争が起きることのないよう、皆さんには、平和について良く考えてください。そして平和に感謝して、そして平和を守って行ってください。  
「命こそ宝」であるということをよく理解してもらいたいと思います。

## 9月28日(木)表彰式

「工業研究部」・茨城県高等学校教育研究会電気部会

第23回茨城県高等学校電気工事コンテスト

優勝 2B 長峯 璃久(ながみね りく)

第3位 2B 田口 瑛仁(たぐち あきひと)

関東甲信越地区電気教育研究会

第22回電気工事コンテスト

第2位 2B 長峯 璃久(ながみね りく)



## たまこう行事予定

10月12日(木)~18(水)

マナーアップ週間

10月20日(金)防災避難訓練

10月23日(月)中間考査日程発表

10月27日(金)3年選択科目考査(5h)

10月30(月)~11/2(木)中間考査

11月13(月)茨城県民の日

11月17日(金)~18日(土)文化祭

11月20日(月)文化祭振替

11月22日(月)学校公開振替

11月25日(土)学校公開(水曜日課)

## 9月28日(木)終業式 生徒指導部長の話

### 1 街頭キャンペーンのお礼と交通事故防止について

・3年生の教習所は9月29日~

・夕暮れ時(自転車・バイク)の交通事故に注意。

### 2 衣替えについて

・不審者対応でもある(本校生との見分け)

・パーカーやカーディガンは制服ではない。防寒着も同じ。

・注意をするのは、社会でのルールやマナー身に付けさせたいためである。注意を受けたら素直に応じて欲しい

### 3 後期の過ごし方について

・「慣れ」から、いき過ぎたことをしないように。(口悪くなり、批判的にならない、周りの雰囲気壊さない)

・協調性をもって行動して欲しい。

・修学旅行、校外学習、文化祭など、良い雰囲気を取り組み、良い思い出にして欲しい

## 9月28日(木)終業式 生徒会長あいさつ 櫻井太智(3年情報技術科 麻生中出身)

この度、1年間の現生徒会の任期を終えました。3年D組の櫻井です。まずは皆さん、1年間ありがとうございました。1年前に現生徒会に就任して、初めは不安でしたが、皆さんに温かく見守られ、同じ生徒会にメンバーや先生方に支えていただいたお陰で、1年間なんとかやり遂げることができました。生徒会の活動で僕が最も印象に残っているのは文化祭の運営です。

当時、新型コロナウイルスが流行している中、開催された行事で、先生方と生徒会が連携して工夫を凝らし、特殊な形で文化祭を開催したことを良く覚えています。この経験はとても貴重なものだ実感しており、これからの学校生活や人生に大きなアドバンテージとして生きていくと思います。最後になりますが、僕たち現生徒会がやり残したこと、やり切れなかったことは正直沢山あります。

次期生徒会の皆さんには、是非僕たちの思いを受け継いで頂き、学校生活をより良いものに変えていってください。

何か分からないこと、困ったことがあればいつでも相談に乗ります。

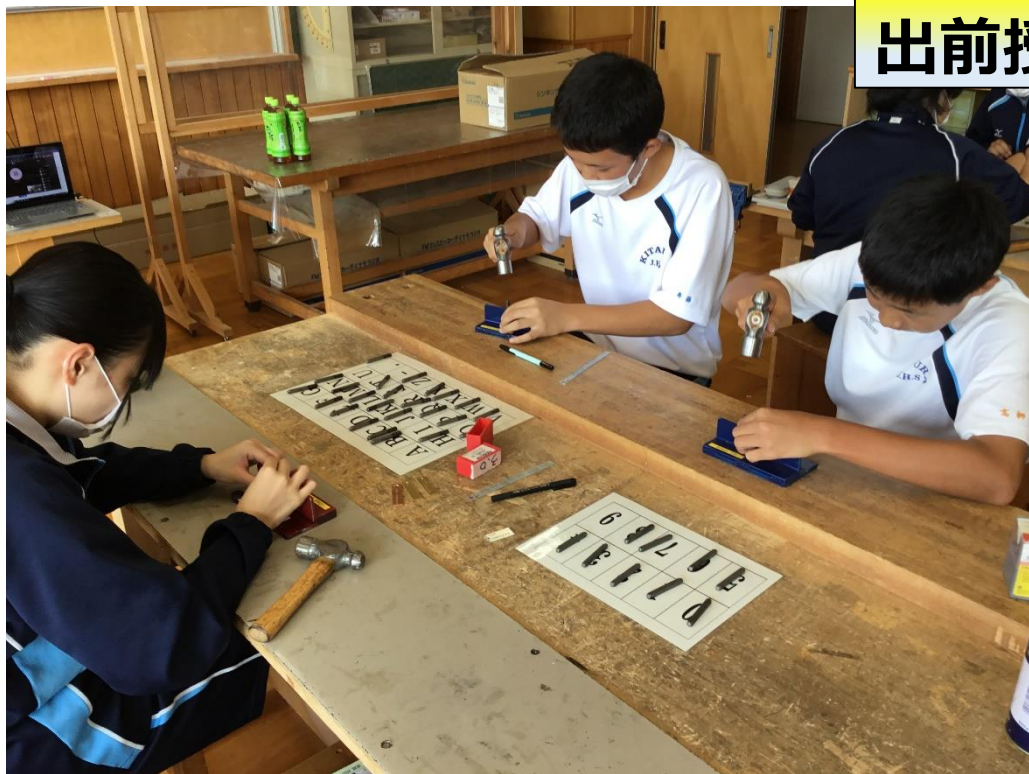
1年間、本当にありがとうございました。

北浦中学校にて、「ネームプレート」づくりの出前授業が行われました。本校から4名、中学校から1名の教員が指導に当たりました。

北浦中学校の3年生50名が、2組→1組の順に25名ずつ、右のようなネームプレートを作成しました。



9月28日(木)  
出前授業 北浦中



# 10月2日（月）始業式 学校長訓話



生徒の皆さん おはようございます。おはようございます。

大変素晴らしいあいさつ、ありがとうございます。

夏休み前の7月に来校した企業の方、288人にアンケートをお願いしました。その中の質問で「高校生に求める能力はどのようなものか」という質問を16個の項目から選んでもらいました。すると、245社の方が「あいさつや礼儀」と回答しました。皆さんは、たかが、あいさつかもしれませんが、あいさつはとても重要だということがわかると思います。私も、毎朝、皆さんとあいさつをしていますが、本当に皆さんは良くあいさつをしてくれます。特に最近、皆さんから私にあいさつしてくれることが多くなりました。大変素晴らしいことだと思います。元気に、明るくあいさつしてもらえると、大変気持ちの良いものです。少し、気持ちが乗らないときなどでも、皆さんに明るくあいさつしてもらおうと、とても良い気持ちになり、元気になります。あいさつは人を元気にしたり、良い気持ちにさせるものすごい力があります。アンケートの結果からもわかるとおり、大変重要なものですので、皆さんこれからも元気に明るいあいさつを続けてください。

さて、先日の終業式で、お話したことを覚えていますでしょうか。前期を振り返り、後期に向けて成績や部活動、資格取得、その他の学校生活についてしっかりと計画を立ててくださいという話をしました。

ところで、皆さんにとって、高校生活3年間は長いですか？みなさんにとっての3年は今までの人生の5分の1、6分の1となるでしょうから結構長いと感じるかもしれません。

では、高校生活3年間が終わって、卒業後の自分をイメージしてみてください。少し難しいかもしれませんが、必ずやってくる現実です。就職してどのような会社に入って、どこで、どのような生活をしているのでしょうか。また、進学して、どこで、どのような生活をしているのでしょうか。

例えば、この地域にある工業系の会社に入社したと考えるなら、それを実現するまでの高校生活3年間はどのようなのでしょうか。3年生はすでにわかっていると思いますが、9月には就職試験があり、夏休み前から面接の練習をしたり、履歴書の書き方を練習したりします。面接では高校時代に頑張ったことなどを話さなくてはなりませんし、履歴書には高校時代に取得した資格を書かなくてはなりません。そうすると、2年生のうち資格取得に頑張ったり、1年生から部活動を頑張ったりしておく必要が出てきます。

資格取得をするにしても、コツコツ勉強したり、何回も何回も実技を練習したりとかなり長い時間がかかります。それを、いくつか実現するとなるとそれに費やす時間と努力は相当なものになるはずです。部活動にしても、目標を立てて、努力していくことは簡単ではありません。何度も何度も長い時間をかけて練習していくことになるはずです。それが、結果として頑張ったことになるわけです。このように考えると3年生では3年生、2年生では2年生、1年生では1年生のやる事が明確になってくると思います。

自分が今何をやっておくべきなのかをよく考え、学校生活を送ってもらいたいと思います。

こう考えると、高校での3年間は決して長いものではありません。卒業後に就職するにしても、進学するにしても、幸せな卒業後に進んでいくためには、高校生活3年間はただ漠然と過ごすのではなく、計画や目標をしっかり立て、それをひとつひとつ達成していくことが重要です。皆さんが、立てた後期の計画に対して、皆さんが一生懸命に取り組む素晴らしい後期となることを期待します。がんばってください。

以上、始業式のあいさつといたします。

# 10月2日（月）始業式 生徒会役員認証式



## 新生徒会長あいさつ 長谷川 将紀

### （2年情報技術科友部中出身）

皆さんこんにちは。新生徒会会長に就任させていただきました2年C組の長谷川将紀です。よろしくお願いします。

生徒会役員選挙の際はお時間を割いていただきありがとうございました。

学校の代表という自覚を持ってしっかりと生徒会活動をしていきたいと思っています。

さて、私は去年1年間生徒会役員として先輩方の活動を間近で見してきました。私もこの先輩方のように学校の顔としてしっかりと学校行事での運営をスムーズに行っていきたいと思っています。

しかし、生徒会活動は、生徒会役員だけでは成り立ちません。皆さんの協力が必要不可欠です。後期も前期同様、生徒会活動へのご理解とご協力をお願いいたします。皆さんで玉造工業高校をより良い学校にしていきたいと思います。

最後になりますが、最近インフルエンザが流行っています。しっかりと手洗いとうがいを徹底して感染しないように気をつけましょう。

以上で会長の挨拶とさせていただきます。